

プラズマ技術が描く 次世代産業変革と環境創生

特別講演

高電圧・プラズマ技術が描く次世代の食料サプライチェーンとその環境醸成

岩手大学 理工学部 教授 高木 浩一

プラズマ触媒が拓く新しい産業電化技術と低炭素社会への貢献

東京工業大学 工学院機械系 教授 野崎 智洋

研究紹介

プラズマを用いた有機フッ素化合物 PFAS 分解技術の展望

東京工業大学 工学院電気電子系 准教授 竹内 希

プラズマ表面処理 — 材料から生体まで —

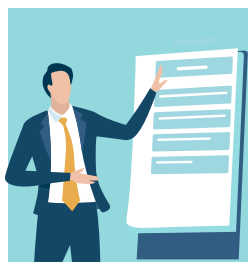
電子光基礎技術研究部門 清水 鉄司

誘導結合プラズマを用いた環境中微粒子の計測

環境創生研究部門 寺本 慶之

プラズマを用いた Power-to-X (窒素固定)

環境創生研究部門 金 賢夏



研究紹介ポスター展示交流会

14:30 ~ 15:00 および

16:30 ~ 17:30

環境創生研究部門の研究者による
研究内容のご紹介 (15件程度)



参加費無料 200名
要事前登録

🎥 Archive 視聴同時受付

参加登録：受付中
11/13 (月) 17:00〆切



開催趣旨

温暖化物質の排出削減のため、再生可能エネルギーの導入と産業の電化が世界の急務です。電気を効率よく利用できるプラズマ技術は、光源やオゾン発生器などとして産業に用いられて来た古い技術ですが、近年は農業や医療にまでその応用範囲を広げており、産業の電化が進む後はさらに幅広い応用が期待されています。本講演会では、プラズマ技術の次世代産業への応用、それによる産業変革、その結果として創生される未来環境を展望します。

講演プログラム

13:00-13:10	開会の挨拶	上級執行役員 兼 エネルギー・環境領域 領域長 小原 春彦
13:10-13:50	特別講演 高電圧・プラズマ技術が描く次世代の食料サプライチェーンとその環境醸成	岩手大学 理工学部 教授 高木 浩一
13:50-14:10	プラズマを用いた有機フッ素化合物PFAS分解技術の展望	東京工業大学 工学院電気電子系 准教授 竹内 希
14:10-14:30	プラズマ表面処理 — 材料から生体まで —	電子光基礎技術研究部門 先進プラズマプロセスグループ長 清水 鉄司
14:30-15:00	休憩・研究紹介ポスター展示交流会(I)	
15:00-15:40	特別講演 プラズマ触媒が拓く新しい産業電化技術と低炭素社会への貢献	東京工業大学 工学院機械系 教授 野崎 智洋
15:40-16:00	誘導結合プラズマを用いた環境中微粒子の計測	環境創生研究部門 界面化学応用研究グループ 主任研究員 寺本 慶之
16:00-16:20	プラズマを用いたPower-to-X (窒素固定)	環境創生研究部門 界面化学応用研究グループ長 金 賢夏
16:20-16:25	閉会の挨拶	環境創生研究部門 研究部門長 鳥村 政基
16:30-17:30	研究紹介ポスター展示交流会(II)	

アクセスマップ

- 名称：国際研究交流大学村 東京国際交流館
- 住所：〒135-8630 東京都江東区青海2丁目2番地1号
- 電話：03-5520-6033
- ・ゆりかもめ
「東京国際クルーズ ターミナル」
東出口より徒歩約3分
- ・りんかい線「東京テレポート」
B出口より徒歩約15分



Archive配信 開催終了後（11/27以降）、HP等で期間限定で動画配信する予定です。